

令和7年度6月4日

八王子市立高嶺小学校

校長 松久保雅和

生活指導主任 岩崎由里

「スマホ、いつから？」—ネット社会との上手なつき合い方を考える

本で行われたセーフティ教室懇談会では、「一緒に考えよう、子どものネットリテラシー」というテーマのもと、保護者の皆様とともに、子どもとスマートフォンの関わりについて話し合いました。

中でも話題となったのは、「スマートフォンをいつ頃から持たせるか」という点でした。

遅く持たせて危険を遠ざけるべきか、それとも早い段階から使わせて、正しい使い方を教えるべきか—意見はさまざまでしたが、懇談会では次のような考え方が一つの結論として共有されました。

それは、「親の話を素直に聞ける年齢のうちに持たせ、使いながら正しいルールや危険性を学ばせていくことが大切」ということです。

もちろん、スマートフォンの利用にはリスクが伴います。その為、親が責任をもって使用状況を確認できる環境を整えることや、何か問題が起こりそうときにはすぐに声をかけ、ルールの再確認をすることが重要です。

また、警察の方には、大人でも巻き込まれるネット詐欺やトラブルの実例もご紹介いただきました。こうした話からも、「子どもたちを守るためには、ネットにまったく触れさせないのではなく、少しずつ使わせながら、何かあればその都度親子でルールを話し合い、必要な判断力を育てていくことが大切である」と考えました。

スマートフォンは、便利である一方、正しい使い方を知らなければ大きな危険も伴います。

制限ばかりに頼るのではなく、子ども自身が使い方を理解し、判断できるようになる力を育てること。その為には、日ごろからの親子の対話や、家庭でのルール作りが欠かせません。

今後ますます進むネット社会において、子どもたちが安全に、そして賢くデジタルと向き合えるよう、引き続きご家庭と学校が連携しながら支えていきたいと思っております。